

科学哲学

ISSN 0289-3428

日本科学哲学会

43-2

特集 科学コミュニケーション

認識論的問題としてのモード2 科学と科学コミュニケーション	伊勢田哲治	1
科学知の不確実性をどう乗り越えるか —科学コミュニケーションの役割—	池内 了	19
社会のなかの科学知とコミュニケーション	小林傳司	33
科学技術コミュニケーションの新自由主義的偏向	木原英逸	47

前期カヴァイエスの数理哲学における超越論的構造 —記号の理論を軸に—	中村大介	67
アキレスと亀：なぜ追いつく必要がないのか —野矢・青山・植村論文の検討—	青山拓央	81

書評論文

曖昧性と因果性 —ノ瀬正樹著『原因と理由の迷宮』(2006年・勁草書房)について—	吉満昭宏	95
--	------	----

書評

デービス・ベアード著、松浦俊輔訳『物のかたちをした知識—実験機器の哲学』 (二瓶真理子、直江清隆)		111
川野洋著『ネットワーク美学の誕生：「下からの総合」の世界に向けて』(清塚邦彦)		
飯田隆編『論理の哲学』(大西琢朗)		
トマス・ネーゲル著、中村昇、山田雅大他訳『どこでもないところからの眺め』(小林道夫)		

第5回「石本賞」(2010年度) 選考結果発表		124
-------------------------------	--	-----
